



Introduce My Teacher [教員紹介]

地域に貢献できる人材育成をめざして

第1回

SERIES



看護学科 教授 大関 信子
おおせき のぶこ

東大医学部にいた頃、私はある素晴らしい先生に出会うことができました。大変厳しい方ではありましたが、英語論文の書き方や統計など、細かいところがグローバルスタンダードになるまで丁寧に指導いただきました。その先生に感銘したのが「与えられた命を最大限生きている」という姿。危険を顧みず戦場へ向かい、人々を指揮・教育されることもありました。また、学生時代には海外留学に憧れを持ち日々努力を重ねました。海外留学で勉強し体験できたことは、世界の人たちとディスカッションし、信頼され愛されるパーソナリティをもつこと。地球レベルで考え、日本を救うことが必要なのだ。

今、私が自分の経験を通し学生に伝えているのは、知識・技術だけでなく、看護を通し人としての道、他者への「愛」「尊敬」の気持ちをもって、社会人として成長してほしいという思いです。

私自身も地域のために貢献し続け、保護者の皆様の子育てのお手伝いのできればとできればと日々取り組んでいます。

私は地元青森(弘前)の出身ですが、今年17年ぶりの帰青でこの大学へ。気付いてみると人生の半分は県外での生活だったこととなります。

栄養士に興味を持ったのは高校生の頃。「青森県は短命県で、食生活が大きく関係している」ということを知ったのがきっかけでした。その後、大学に入り、岡山県立大学大学院を卒業し、愛媛県の病院で管理栄養士として日々仕事に励む毎日。その中で私は来院された患者様に30分~1時間、栄養指導として話す機会がありました。食生活からライフスタイル、さらに掘り下げたお悩みまで。単に食事改善を促すだけではなく、気持ちを通い合わせてケアをすることが大切だと感じる事が多くありました。

先輩栄養士方々のご活躍により、医療現場では栄養が見直され、管理栄養士の仕事の場合は厨房から複数の専門職種がいる病棟へと広がっています。そこで学生には①患者様の気持ちを理解しようとする心②先輩、他職種への敬意③栄養療法を発展させようとする精神を伝え、これらのマインドを育みたいと考えております。



栄養学科 講師 清水 亮
しみず りょう

職員紹介



教務学生課 全幹 鹿内 亮一
しかのい りょういち

私は、当大学で教務学生課に所属しております。担当業務は、研究科長と連携し、主に大学院の研究指導上のカリキュラム構成、遠方から来る学生と先生のスケジュール調整などの段取り・下調べや、入学式・卒業式の進行・運営についての準備や進行管理を行います。

本学赴任前、県機関である子ども自立センターみらいに勤務していた私は、平成11年に当大学が創設されると知り衝撃的でした。もともと教員免許も取得するほど教育分野に関して興味があった私は、「真っ先に携わりたい!」という思いでいっぱいでした。青森県立保健大学というアカデミックな部分に惹かれ、自分の意志で配置転換の希望を出したほどなんです。現在当大学は創立12年目ですが、内9年勤務(2年県庁に戻る)させていただいており、今もあの時の思いは変わりません!これからも「大好きな職場」で熱い思いを持ち、心から皆様を支えていきたいと考えておりますので、何卒よろしくお願い致します。

単位互換DVD を用いた授業の成果と FD実施上の提案



栄養学科准教授 浅田 豊
あさだ ゆたか



本年度後期より、学部の科目「教育と人間」の中で、単位互換用DVDによる講義を開始しました。この取組みは県内でも新しく、大学コンソーシアム青森の教育連携事業の一環として検討されているものです。

講義はレジュメの受け取り、映像に基づくメモ、板書内容の書き取り、映像中の練習問題に対する解答の記述、記述提出物の確認という流れで進めてきました(写真)。教材上は、単一の大学のみではカバーできない幅広い教養領域等を取り扱うことができます。また質問や補足解説の機会を接続することで、さらに効果が高まるものと考えています。

「既習事項と新しい学習内容との統合」、「受講生の注意喚起と持続」、「到達目標の受講者との共有」、「練習問題による思考力向上と振り返り機会の保障」、「講義前後での学習変化の確認」、「ティーチングポートフォリオによる省察」。以上は筆者がDVD製作上心がけた指導上の要点ですが、DVD教材使用の有無に関わらないFD実施上の提案として位置付けることができると考えています。今後も本学の教育の質向上に向けた教材開発・研究を進めるとともに、学生の心を奮い立たせ、学術的ひらめきを与える講義の運営を続けたいと考えます。